

第7回ちびマッチ選手権大会 (佐賀予選リーグ)



- ① 開会式（抽選会） : 平成30年 7月22日（日）
- ② 佐賀予選リーグ : 平成30年 7月28日（土）
※8チームが参加 ~ 11月11日（日）
- ③ 九州トーナメント : 平成30年11月23日（金）
※九州7県より、
代表29チームが進出
平成30年11月24日（土）
平成30年12月 1日（土）
※予備日 / 12月 2日（日）



前年度優勝 大野城少年野球（福岡県大野城市）



前年度準優勝
中間南ドリームス
(福岡県中間市)

前年度第三位
福岡三苦ヤンキース
(福岡県福岡市東区)



開催要綱

主催	ちびマッチ選手権大会実行委員会 (大会実行委員長：ちびマッチ応援団・団長 吉田光寛)
共催	佐賀県(九州)少年野球専門誌◇ZONE(ゾーン) (編集長：天本考一)
協賛	ケーブルステーション福岡、三和シッター工業株式会社九州事業部、 スーパースポーツゼビオ 春日店・ゆめタウン筑紫野店、 ダイワマルエス株式会社、株式会社山一 (五十音順、敬称略)
協力	ちびマッチ応援団(主協力)、NPO法人ふくおかスポーツ応援隊、 NPO法人部活ガンバ、株式会社ブルペンズ (五十音順、敬称略)
出場選手	スポーツ保険に加入している小学四年生以下の男女。 ※ユニフォームや背番号が揃ってなくても、試合出場やベンチ入りは可能。
出場資格	一、単独チームとして、小学4年生以下の選手で試合を行えるチーム。 ※単独チームとして人数が揃わないチーム同士のみ、合同チームでの出場が可。 二、予選リーグを「自主対戦制」で主体的に進められるチーム。
開催趣旨	一、上級生に比べて試合経験が少ない小学4年生以下のちびっこたちに、様々な地区のチームとの試合経験を積ませる。 二、様々な役割を参加全チーム・参加者全員で責任を持って分担しながら、特に自主対戦制で進める予選リーグでは主体的・協力的に、全チームが共同で全試合の進行と管理を行っていき、様々な地区の多くのチームのちびっこたちや指導者・応援団の皆さんとの交流を積極的且つ主体的に図り、深めていく。 三、「優勝」や「メダル獲得」、そして、「九州No.1」といった明確な目標を選手たちが持つことによって、野球に対するモチベーションを更に向上し、日々の練習をより懸命に取り組み、野球を今以上に好きになっていくことを図ると共に、野球の普及と振興や部員勧誘にも繋げる。
抽選会	日時/平成30年7月22日(日) 18時30分～19時30分 会場/蔵上町公民館・大ホール(佐賀県鳥栖市蔵上町2-231) ※予選リーグのパート別日程調整会議も行うため、大人1名以上が必ず参加すること。
↓	
佐賀予選リーグ	日程/平成30年7月28日(土)～11月11日(日) 参加/8チーム(1パート4チーム×2パート) →上位3チームが九州トーナメントに進出する。 進行/自主対戦制(各パート内で試合の日時や会場等を決定し報告をする。) 参加費/1チーム1,500円
↓	
九州 トーナメント ※九州7県から 29チームが進出	◇一日目/平成30年11月23日(金)：開会式、一回戦、二回戦 ◇二日目/平成30年11月24日(土)：二回戦、三回戦(準々決勝) ◇三日目/平成30年12月1日(土)：準決勝、三位決定戦、決勝戦、閉会式 ※予備日/平成30年12月2日(日) 会場/諸田グラウンド、松川運動公園、北谷運動公園、大佐野スポーツ公園 参加費/1チーム8,000円
↓	
表彰	☆ 優勝 /優勝カップ、優勝トロフィー、賞状、金メダル(15個)、副賞 ☆ 準優勝 /準優勝盾、賞状、銀メダル(15個)、副賞 ☆ 第三位 /賞状、銅メダル(15個)、副賞 ☆ 第四位 /賞状、副賞 ☆ 最優秀選手賞 (1名) ☆ 敢闘賞 (3名) ☆ 最優秀入場行進賞 (1チーム) ☆ 最優秀チーム紹介アナウンス賞 (1名)
オリジナル ルール	①1試合：5回70分。 ②バッテリー間：14m、塁間：21m。 ③投球制限：一人一日1試合(1試合最長5回)まで。 ※詳細は開催規則を要確認。

開催規則

※指導者の皆さんだけでなく、選手や応援団の皆さんもご確認下さい。

※本大会は、本大会の開催規則、及び、2018年度日本公認野球規則（少年野球に関する事項）・全日本軟式野球連盟学童細則に則って行う。

- ①試合に出場できる選手は、スポーツ保険に加入している**小学4年生以下の男女**とし、各試合の開始予定時間15分前に交換するメンバー表に記名された選手のみとする（各試合ごとのメンバー表が最優先）。
- ②ベンチに入れる選手の人数制限は設けない。その試合のメンバー表に記名された選手は全員がベンチに入れる。しかし、大人の人数は、代表者1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手の体調管理を行うお母さん2名の計7名以内とする（全て性別は問わず、代行者でも可）。
※ベンチと応援席との境界ラインはきちんと守ること。 **※ベンチからの撮影は一切禁止する。**
- ③選手や指導者は各チームで統一された、背番号付きのユニフォームを全員が同じように着用することが望ましい。しかし、「ちびマッチ」では一人でも多くの選手や指導者が試合に出場できたりベンチに入れたりすることを最優先とするため、ユニフォームがまだ全て揃っていない選手や指導者、背番号が付いていないユニフォームを着用した選手や指導者の試合への出場やベンチ入りを可能とする。
- ④全ての試合は**5回**までとし、**70分**を越えると新しいイニングには入らないこととする。
※1分でも残り時間があれば、新しいイニングに入る。
※試合成立の条件は、4回を終了した場合、もしくは、開始後55分を経過した場合とする。
※時間厳守を全員徹底し、グラウンド上は選手も指導者も常に全力疾走を心掛けること。
※選手たちには「時間を気にすること」や「時間を守ること」、「全力疾走の大切さ」などを学び、上記の各規定内で試合が出来るように努めてほしいと思っております。ですので、指導者や応援団の皆さんも、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。
（例：必要以上にタイムを取らない、選手をむやみにマウンドに集めない、すぐにサインを出す、頻りに打者を呼び寄せない、プレーを止めてしまう声掛けを応援席からしない、等）
- ⑤上記④の規定内で勝敗が決しない場合は、特別延長戦（無死満塁、打者継続、選手交代可）を決着が付くまで繰り返し行うこととする。
- ⑥全試合、点差によるコールドゲームは無しとする。
- ⑦**バッテリー間は14m、塁間は21m**とする。
- ⑧同一投手の投球制限は、**1日1試合まで（1試合最長5回まで）**とする。特定の選手のみを負担をかける過ぎないようにするため（投手の体を守るため）、また、一人でも多くの選手にピッチャーの経験を積ませるため、1日2試合以上の投球は、たとえ回数が少なくても禁止する。
※1球投げて交代しても1回・1試合としてカウントする。 **※特別延長戦での投球もカウントする。**
- ⑨試合中の投手の準備投球（ピッチング練習）は登板直後は7球以内、以降は3球以内とする。
※投手の準備投球（ピッチング練習）を含む攻守交替は全力疾走で速やかに行うこと。
- ⑩投手がボークと見なされる行為を取った場合は同一試合・同一投手に限り、一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し、二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告することとする。
※ボークの場合、審判は、「なぜボークなのかの理由」と「正しくはどうすれば良いか」をその投手にその場できちんと伝えること。
※2段モーションもボークの対象とし、上記の対応を取る。
※申告敬遠は取り入れないこととする。
- ⑪選手がホームランを打った場合、その直後にボール交換の希望を申し出て、代わりに新しい試合球を出せば、そのホームランボールと交換して、打った選手にプレゼントできる。
- ⑫審判の判定は絶対とし、判定に関する抗議や質問は一切認めない。当然、暴言・野次等も厳禁とする。しかし、ルールに関する質問のみは監督（監督不在の場合は監督代行のコーチ）一名だけが出来ることとする。ただし、その者の質問するマナーが悪い場合、審判はその者に退場を宣告できる。
- ⑬応援は必ず所定の位置で、マナー良く行うこと。特に、相手チームや審判に対する暴言・野次・抗議等（「落とせー！！」「捕るなー！！」「今の判定はおかしい！！」等）やスポーツマンシップに反する行為等は決して行わず、常に選手たちのお手本となる様にする。そして、再三の注意にも反して違反行為を続けた場合は審判や主催者の判断により、その当該者を試合から除外することや没収試合とすることもできる。
- ⑭試合後のグラウンド整備やライン引き等は、その試合を行った両チームで協力して行う。そして、ベンチや応援席を離れる時はその度に清掃を行い、使用前よりもきれいにしゴミ等を一切残さないこと。
- ⑮グラウンド内では、禁煙とする。喫煙が可能な場所で喫煙をした後は、各個人が責任を持ってその場をその度にきれいに清掃し、歩きタバコやポイ捨ては絶対にしないこと。
- ⑯試合中や練習中、また、移動中に事故や怪我等が生じた場合は各チームで全ての責任を持ち、速やかに、しかるべき処置を行うこと（主催者は一切の責任を負わない）。
※各チームで、選手の保険証（コピー）を持参しておくことが望ましい。

◆ご不明な点等があれば、責任者／大会実行委員長：吉田に、いつでも・お気軽にお問い合わせ下さい。

佐賀予選リーグ

◇日 程＝平成30年7月28日（土）～11月11日（日）。

◇参 加＝8チーム（1パート4チーム×2パート）。

◇形 式＝各パートに分かれてのリーグ戦。

◇試合数＝各チーム：4試合ずつ。

◇進 行＝自主対戦制（各パート内で試合の日時や会場等を決定し報告をする）。

※自主対戦制・・・抽選会でパート分け（組み合わせ）が決定した後、連絡係のチームを中心に、同じパート内で連絡を取り合って期間内に対戦し、その結果を報告する仕組みです。

具体的には、試合の「日時」や「グラウンド」「必要な用具（試合球やベース、石灰やラインカー等）」の手配を同じパートのチーム同士で行います。もし、グラウンド使用料が発生する場合は、その試合を行うチーム同士の負担となります（支払う割合・金額等についてはお互いに話し合って決定）。

（1）予定連絡＝各チームは、試合が出来る日程や会場を同パートの連絡係のチームに連絡する。

（2）試合決定＝連絡係のチームは各チームの予定を確認し、各試合の日程や会場を決定していく。

（3）予定報告＝連絡係のチームは各試合の予定を大会本部／吉田へメールで報告する。

（4）予定更新＝大会本部／吉田は各試合の予定を「☆ちびマッチHP」に随時アップしていく。

（5）結果報告＝試合後、勝利チームは大会本部／吉田へ、「試合結果記入用紙」をFAXする。

※試合の翌日までにFAXが届いていない場合、その試合は無効となります。

→勝利チームは「試合結果記入用紙」のFAXを忘れないようにご注意ください。

（6）結果更新＝大会本部／吉田は各試合の結果を「☆ちびマッチHP」に随時アップしていく。

◇順 位＝勝ち点制（勝利：5点、特別延長戦での勝利：4点、特別延長戦での敗北：2点、敗北：1点）

※複数のチームの勝ち点が同点で一位になった場合、該当チーム間の直接対決で成績の良いチームを一位とする。それでも同点の場合は、パート一位決定戦を別に行うか、主催者立ち会いの下での抽選によって一位を決める。

◇進 出＝各パートの一位チーム（2チーム）と各パートの二位チームのうち成績が良いチーム（＝ワイルドカード1チーム）＝計3チームが佐賀県代表チームとして、九州トーナメントに進出する。

◇試合球＝ダイワマルエス軟式C号試合球 ※各チームで用意すること。

◇参加費＝1チーム 1,500円

【試合結果記入用紙への記入と送信について】

1. 試合終了後にその場で「試合結果記入用紙」の該当箇所を記入し、その場で両チームで確認。

※「試合結果記入用紙」は「☆ちびマッチHP」からダウンロード可能。

2. その試合の勝利チームが「試合結果記入用紙」を大会本部／吉田へFAXする。

3. 大会本部／吉田がその結果（FAX用紙）を「☆ちびマッチHP」に随時アップしていく。

【注意点】@「試合結果記入用紙」には見やすい文字・数字をご記入下さい（そのままアップします）。

@「試合結果記入用紙」の送信が試合終了の連絡となります。

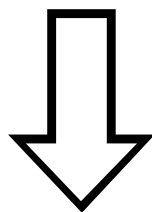
@試合の翌日までに「試合結果記入用紙」が届いていない場合、その試合は無効となります。


→勝利チームは「試合結果記入用紙」のFAXを忘れないようにご注意ください。

※「試合結果記入用紙」送信先：大会実行委員長／ちびマッチ応援団・団長 吉田 光寛
（FAX）092-510-7219

Nパート	◎勝利：5点 ○特別延長戦での勝利：4点 △特別延長戦での敗北：2点 ×敗北：1点	①	②	③	④	○	順位	勝ち点
		若葉	上峰	弥生が丘	麓	パート	勝	敗
①若葉少年野球			×	◎	×	対三田川 ×	三位	8
			4-5x	6x-5	2-13	0-10		1勝3敗
②上峰少年野球クラブ		◎		◎	◎	対曾根崎・大原 ◎	一位	20
		5x-4		8-0	13-2	11-4		4勝0敗
③弥生が丘中央少年野球		×	×		◎	対仁比山 ×	三位	8
		5-6x	0-8		5-3	2-12		1勝3敗
④麓少年野球		◎	×	×		対村田町 ◎	二位	12
		13-2	2-13	3-5		西田町 ◎		2勝2敗
						6-3		

○パート	◎勝利：5点 ○特別延長戦での勝利：4点 △特別延長戦での敗北：2点 ×敗北：1点	①	②	③	④	N	順位	勝ち点
		三田川	曾根崎・大原	仁比山	村田町 西田町	パート	勝	敗
①三田川少年野球クラブ			◎	◎	◎	対若葉 ◎	一位	20
			15-0	11-2	11-0	10-0		4勝0敗
②曾根崎・大原 合同		×		×	×	对上峰 ×	四位	4
		0-15		7-10	3-4	4-11		0勝4敗
③仁比山少年野球クラブ		×	◎		◎	対弥生が丘 ◎	二位	16
		2-11	10-7		3-2	12-2		3勝1敗
④村田町・西田町少年野球		×	◎	×		対麓 ×	三位	8
		0-11	4-3	2-3		3-6		1勝3敗



		『第7回ちびマッチ選手権大会 九州トーナメント』
		進出決定・佐賀県代表チーム
Nパート代表	上峰少年野球クラブ	
○パート代表	三田川少年野球クラブ	
ワイルドカード	仁比山少年野球クラブ	

九州トーナメント

- ◇日 程＝（一日目）平成30年11月23日（金）：開会式、一回戦、二回戦
（二日目）平成30年11月24日（土）：二回戦、三回戦（準々決勝）
（三日目）平成30年12月 1日（土）：準決勝、三位決定戦、決勝戦、閉会式
（予備日）平成30年12月 2日（日）
- ◇会 場＝諸田グラウンド（福岡県筑紫野市諸田10-1／筑紫野市総合保健福祉センター「カミーリヤ」前）
松川運動公園（福岡県太宰府市御笠5-3-1）
北谷運動公園（福岡県太宰府市大字北谷941番地1）
大佐野スポーツ公園（福岡県太宰府市大字大佐野807番地142外）
- ◇出 場＝九州7県（福岡・佐賀・熊本・長崎・大分・宮崎・鹿児島）の代表29チーム
☆前年度優勝＝大野城少年野球 ☆前年度準優勝＝中間南ドリームス
☆佐賀県代表＝3チーム ☆熊本県代表＝3チーム ☆長崎県代表＝3チーム
☆大分県代表＝1チーム ☆宮崎県代表＝1チーム ☆鹿児島県代表＝1チーム
☆福岡県代表＝13チーム ☆実行委員会代表＝2チーム
- ◇形 式＝トーナメント戦
- ◇試合球＝ダイワマルエス軟式C号試合球 ※大会実行委員会でご準備致します。
- ◇参加費＝1チーム 8,000円
- ◇本部チーム＝大会実行委員会チーム、及び、福岡県・佐賀県代表チーム（担当チームには別途連絡）。
- ◇主将・監督＝各試合の15分前に、メンバー表（3部）を持って、各会場の大会本部に集合し、
挨拶と握手、メンバー表の交換、先攻・後攻を決めるジャンケンを行う。
- ◇試合後のグラウンド整備・次の試合のライン引き＝その試合で対戦した両チームで、協力して行う。
- ◇審 判＝（一日目）同じパートで試合が無いチーム。 ※2名ずつのご協力をお願いします。
（二日目・三日目）全試合を大会実行委員会で担当します。
- ◇開会式＝（一日目）平成30年11月23日（金） 9：30開始 諸田グラウンドにて。
@駐車台数／各チーム**8台ずつまで**（厳守下さい）。
@会場（駐車場・グラウンド）への入場／8：00～可能。
@受付／9：00～9：25。監督会議／9：15～。
@入場行進／プラカードガールと自チームを紹介するアナウンサーは、
選手以外の女性（上級生・お母さん・おばあちゃん・姉妹・OB、等）が担当する。
- ◇表 彰＝☆優 勝／優勝カップ[®]、優勝トロフィー、賞状、金メダル（15個）、副賞
☆準優勝／準優勝盾、賞状、銀メダル（15個）、副賞
☆第三位／賞状、銅メダル（15個）、副賞
☆第四位／賞状、副賞
☆最優秀選手賞（1名）
☆敢闘賞（3名）
☆最優秀入場行進賞（1チーム）
☆最優秀チーム紹介アナウンス賞（1名）

※進出決定後にお送りする
“駐車許可証”がある車
のみ駐車可。
※各試合会場では、各チ
ーム



△昨年の開会式での入場行進
（選手は指導者の皆さんとハイタッチ！）

ちびマツチ選手権大会

第 1 回 (2012年)	Aブロック 優準第3位	優勝	宇美ジュニアーズ球団
	Bブロック 優準第3位	優勝	照葉ハンターズ
		第3位	福岡ボンバーズ
		優勝	大野リトルファイトース
		第3位	中原少年野球クラブ
		優勝	大野城少年野球
第 2 回 (2013年)	優準第3位	優勝	月の浦フェニックス
		第3位	大野城少年野球
		優勝	照葉ハンターズ
第 3 回 (2014年)	優準第3位	優勝	弓削キーンクス
		第3位	二日市ジュニアーズ
		優勝	甘木ゴールデンフェニックス
第 4 回 (2015年)	優準第3位	優勝	福岡三苦ヤンキーズ
		第3位	泗水ウエストレイズ
		優勝	清水スカイヤーズ
第 5 回 (2016年)	優準第3位	優勝	福岡三苦ヤンキーズ
		第3位	泗水ウエストレイズ
		優勝	筑紫野リトルホークス
第 6 回 (2017年)	優準第3位	優勝	大野城少年野球
		第3位	中間南ドリムス
		優勝	福岡三苦ヤンキーズ

